

# 大会実施要項

主催 財団法人 日本自転車競技連盟  
共催 (財)全国高等学校体育連盟自転車競技専門部・日本学生自転車競技連盟・韓国学生サイクル連盟  
協賛 (財)JKA・全国競輪場施設協会・(社)全国競輪施工者競技会・(社)日本競輪選手会・日本自転車競技会  
岸和田市・大阪府自転車競技連盟・大阪高等学校体育連盟

期日 2010年11月6日(土)～7日(日)

会場 岸和田競輪場 (浪きりバンク:周長400m)  
大阪府岸和田市春木若松町22-38 TEL072-422-4846(代)

## 大会主旨

本大会は、自転車競技大会を通じて、日韓両国の学生選手の相互研鑽・友好および親善を図り、自転車競技の競技力向上および情報交換を進め、両国学生自転車競技連盟の結束・紐帯を強化することを目的として開催する。

## 代表団の構成

両国の代表団は各々、男子大学生5名、男子高校生5名、女子5名、役員(団長・監督・コーチ等)5名、合計20名を以て構成する。

## 競技種目(エントリー数)

男子大学生: スプリント(2)  
1kmタイムトライアル(2)  
4kmインディヴィデュアル・パーシュート(2)  
4kmチームパーシュート(4)  
ケイリン(2)  
ポイント・レース(5)

男子高校生: スプリント(2)  
1kmタイムトライアル(2)  
3kmインディヴィデュアル・パーシュート(2)  
チームスプリント(3)  
ケイリン(1)  
ポイント・レース(5)

女子: スプリント(2)  
500mタイムトライアル(2)  
2kmインディヴィデュアル・パーシュート(2)  
チームスプリント(2)  
ポイント・レース(5)

## 代表選手選考

日本側: 男子大学生については、原則として実施種目の当年インカレ優勝者とする。(SP,TT,IP,PR) 辞退者があった場合、インカレ2位以降・当年学連ランキング・主要大会の実績に基づき選考される。女子については、大学生については上記原則を準用し、高校生については当該年の競技成績を参考とし、学連・高体連間で協議のうえ選抜する。  
男子高校生については、当該年の全国高校総体の成績優秀者から選抜する。

韓国側: 韓国学生サイクル連盟が選抜する。

## 選手受付

- 1 参加選手は参加チーム毎にライセンスを大会本部に提示し、ボディナンバーを受け取ること。
- 2 出走選手の受付は、各競技種目の最初の競技開始15分前までに、個々に招集所にて行う。

## 賞典

- 1 個人種目は、第3位以上の選手に賞品と賞状を授与する。
- 2 団体種目は、第2位以上のチーム(選手)に賞品と賞状を授与する。
- 3 各カテゴリー(大学生・高校生・女子)の総合成績に基づいて賞品と賞状を授与する。
- 4 国家対抗の総合成績に基づいて賞品と賞状を授与する。

## 事故措置

- 1 競技中に発生した事故等の処理は、JCF 競技規則第6条による。主催者にて応急処理の範囲の体制は準備する。
- 2 日本側の各選手は、健康保険証を持参すること。

## 競技規則

UCI競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

## 事務局

(財)全国高等学校体育連盟自転車競技専門部、日本学生自転車競技連盟

## 協議

この要項によらない事項に関しては、日韓相互の協議により決定するものとする。

### 2010年 日韓対抗学生自転車競技大会 特別規則

第1条(スプリント) 予選タイムにより準決勝の組合せを決定し、決勝戦のみ3本勝負とする。

第2条(インディビジュアルパーシュート・タイムトライアル・団体種目) 決勝戦のみのタイムレースとして行う。

第3条(ポイントレース) 男子は、大学生と高校生の混合レースとし、30km で実施する。

女子については、12km で行う。

第4条(対抗得点)

	1位	2位	3位	4位	5位
個人種目	5点	3点	1点		
ポイントレース	5点	4点	3点	2点	1点
団体種目	7点	4点			

第5条(監督会議) 11月6日(土)10時より行うものとする。

第6条(式典) 1. 開会式は11月6日(土)12時より競技場内で行うものとする。

2. 表彰式は、表彰式は第3位以上のみ、時程表に基づき、競技場内にて行う。

3. 閉会式は、競技終了後、準備が整い次第、競技場内にて行う。